

事業報告書

<p>事業名</p>	<p>宮前区障がい児の為の夢を叶えるチャレンジ教室&amp;同開催の為の実践講座</p>
<p style="text-align: center;"><b>【計画時の事業内容】</b></p> <p>◎「ミュージックコース」のテーマは、「音で自由に表現しよう！」「音を合わせてセッションしよう！」 メロディ楽器のギターや鍵盤ハーモニカから、リズム楽器のカホンやシェイカー等まで、実際に触れ音を出し、自身に合う技巧を見付け伸ばす。 ・2018年1月31日(水)15:00～16:30 宮前市民館(視聴覚室等)</p> <p>◎「アートコース」のテーマは、「アートを自由に表現しよう！」「心に感じている何かをまずは描いてみよう！」 クレヨンアート、カラーペイント、貼り絵、シルクスクリーン、ちぎり絵ワーク等の習得を経て自身に合う技巧を見付け伸ばす。 ・2018年2月7日(水)15:00～16:30 宮前市民館(実習室等)</p> <p>◎「同開催の為の実践講座」 開催実施に向けた企画立案から開催実施までの流れ、各種エンターテインメントごとの留意点等の提示、実際に講師を交えてのワークショップ体験等 ・2018年2月10日(土)12:00～16:00 宮前市民館(大会議室等)</p>	<p style="text-align: center;"><b>【実施結果(成果)】</b></p> <p>■宮前区障がい児の為の夢を叶えるチャレンジ教室 ＜アートコース＞ 2018年1月31日(水)15:00～16:30 宮前市民館(第3会議室) 参加人数 ・子ども(障がい児):3名、保護者:3名、見学:3名 ・指導者名:デコピン/大内康弘、源内/岩永源内</p> <p>テーマは、「アートを自由に表現しよう！」「心に感じている何かをまずは描いてみよう！」 クレヨンアート、カラーペイント、貼り絵、ちぎり絵ワーク等の習得を経て自身に合う技巧を見付け伸ばす。</p> <p>*****</p> <p>■宮前区障がい児の為の夢を叶えるチャレンジ教室 ＜ミュージックコース＞ 2018年2月7日(水)15:00～16:30 宮前市民館(視聴覚室) 参加人数 ・子ども(障がい児)/障がい者:6名、保護者/付添:5名、見学:3名 ・指導者名:源内/岩永源内、JENI/小脇由香里、岩永浩二</p> <p>テーマは、「音で自由に表現しよう！」「音を合わせてセッションしよう！」 メロディ楽器のギターや鍵盤ハーモニカから、リズム楽器のカホンやシェイカー等まで、実際に触れ音を出し、自身に合う技巧を見付け伸ばす。</p> <p>*****</p> <p>■「障がい児の為の夢を叶えるチャレンジ教室」開催の為の実践講座 2018年2月10日(土)12:00～16:00 宮前市民館(大会議室) 参加人数 ・子ども(障がい児):2名、保護者/付添:2名、大人:2名、見学:3名 ・指導者名:岩永浩二、デコピン/大内康弘、源内/岩永源内、JENI/小脇由香里</p> <p>開催実施に向けた企画立案から開催実施までの流れ、各種</p>

エンターテインメントごとの留意点等の提示、実際に講師を交えてのワークショップ体験等

\*\*\*\*\*

※3回の開催共に、インフルエンザの流行のより、参加希望の小学生/中学生と、事業所「しらはた」と「まじわる宮前」からの障がい者が、多数不参加となりました。

### 【事業の実施効果】

①障がい児本人が、自分自身の持つ、文化・芸術の可能性に気づき、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持てるようになる。

②文化・芸術が持つエンターテインメントとしての「楽しみ」「気分転換」「気晴らし」「遊び」「息抜き」等が、そのパフォーマーである障がい児のみならず、周りの家族や仲間をも含め、たくさんの人々に笑顔をもたらす。

③同様の教室やワークショップ、イベント等を開催したいが方法等が分からないと今まで行動出来なかった団体や個人の方が、その手法やヒントを得て、より多くの波及が期待出来る。

### 【実際の効果と課題】

① → 音楽や美術は障がい者にこそ必要な表現活動であることが再認識出来ました。  
今回の活動で、アートコースでは、普段は使わない色を使ったり、集中力が長続きました子どもがいました。またミュージックコースでは、経験してみたい、触ってみたい、と憧れていたギターを実際に弾くことが叶ったと喜んでいた親子もいました。文化・芸術の可能性が未来への希望へと繋げてくれたと感じました。

② → 参加者はコミュニケーションのツールとしてアートが持つ意味を楽しさや喜びの中で経験出来たと思います。参加した子どもたちの保護者さまからは、  
「来年度も是非開催して欲しい」  
「今回の教室を子どもは楽しみにしていました」  
等のお声を笑顔と共に頂きました。

③ → 同様の教室やワークショップ、イベント等を開催したい団体や個人の方の参加は叶いませんでしたが、川崎市障害者更生相談所 発達相談支援担当 飯野芳枝さまと、川崎市北部地域療育センター 所長 小倉輝久さまにご参加頂き、勉強会形式でのディスカッション、意見交換をさせて頂きました。私どもの活動に関してたくさんのヒントやアイデアを頂きましたし、お二人へも私どもの手法をすべてお伝えすることが出来ました。今後の波及に繋がります。